

# 現代の国語

## 学習目標



科目：現代の国語  
履修：1年  
共通 2単位

読み書き能力の向上により、言語生活の充実と発展とをめざす。

論理的文章の読解により、思考力と問題意識の深化をめざす。

古典的文章の読解能力を身につけることにより、伝統的文化への理解を深める。

言語運用能力の向上により、思索する力とコミュニケーション能力の発達をめざす。

### 年間授業計画

月	学 習 単 元		学 習 事 項 等	
前 期	4	評論（1）	実践的活動（1）	<b>【現代文】</b> 『ことばとは何か』『身体、この遠きもの』『＜私＞時代のデモクラシー』等、評論文の表現形式の特色と、その内容について、正確な理解を目指す。授業に集中して、提出された問題を考察し、意欲的に学習する態度が必要である。  <b>【実践的活動】</b> 自分の意見を文章にまとめたり、自分が読んだ本の魅力を紹介したりする活動を通して、他者に自分の意見や考えをわかりやすく伝えることを目指す。
	5			
	6	評論（2）	実践的活動（2）	
	7			
後 期	9			<b>【現代文】</b> 『マルジャーナの知恵』『名づけと所有』『開かれた文化』等、抽象度の高い評論の読解を目指す。言語によって、人間は世界を解釈し、また世界のなかで自分を表現する。そこにはたらく言葉を正確に理解することにより、言語運用の主体としての自己を育てていくことが目標である。  <b>【実践的活動】</b> 対比の構造を捉えながら読んだり、あるテーマについて議論したりする活動を通して、視点の違いを考えながら主張を組み立てていく力を身に付けることを目指す。
	10	評論（3）	実践的活動（3）	
	11			
	12	評論（4）	実践的活動（4）	
	1			
	2			
講 習	必要に応じ、補習等を設定する。			
評 価 の 方 法	定期テストの結果を中心に、小テスト・課題・補習等を通して、学習への意欲と達成度とを見て、総合的に評価する。			



推薦図書・参考書

『読書術』加藤周一（岩波現代文庫）  
 『日本語を書く部屋』リービ英雄（岩波現代文庫）  
 『私家版日本語文法』井上ひさし（新潮文庫）  
 『私家版文章読本』井上ひさし（新潮文庫）



# 言語文化

## 学習目標

科目：言語文化  
履修：1年  
共通 3単位

読み書き能力の向上により、言語生活の充実と発展とをめざす。

古典的文章の読解能力を身につけることにより、伝統的文化への理解を深める。

言語運用能力の向上により、思索する力とコミュニケーション能力の発達をめざす。

### 年間授業計画

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
前 期	4 古文入門 随筆	<p>【古文】 『児のそら寝』『伊勢物語』等、有名作品を題材に、古典文法の基礎である用言の活用を正確に理解することを目指す。予習・復習を通して確実に知識を身につけることが必要である。</p> <p>【漢文】 『訓読入門』『故事』等を題材に、漢文訓読の方法を正確に理解することを目指す。積極的に声に出し、何度も繰り返して音読することが必要である。</p> <p>【現代文】 『余が言文一致の由来』『物語る声を求めて』等、現代につながる近代語の変遷、口承の物語と近代文学の違いについての理解を目指す。授業に集中して、提出された問題を考察し、意欲的に学習する態度が必要である。</p>
	5 漢文入門 故事	
	6 随想	
	7 物語	
	9 史伝 随想	
後 期	10 日記 和歌	<p>【古文】 『土佐日記』『徒然草』『平家物語』『和歌』等、本格的な古文を読解し、時を隔てた古人のものの見方や考え方を学ぶ。助動詞、助詞、敬語法が学習の中心となる。</p> <p>【漢文】 『史伝』『論語』『唐詩』等、本格的な漢文を読解し、描かれている人間の本質や古人の知恵を学ぶ。主要な句形の学習が中心となる。</p> <p>【現代文】 『小諸なる古城のほとり』『夢十夜』等、詩や小説の表現形式の特色を味わいながら、その内容についての正確な理解を目指す。</p>
	11 史伝	
	12 詩	
	1 軍記	
	2 思想 漢詩 小説	
講 習	必要に応じ、補習等を設定する。	
評 価 の 方 法	定期テストの結果を中心に、小テスト・課題・補習等を通して、学習への意欲と達成度とを見て、総合的に評価する。	



『古文の読みかた』藤井貞和（岩波ジュニア新書）

『漢文の読みかた』奥平 卓（岩波ジュニア新書）

推薦図書・参考書

# 論理国語

# 学習目標



年間授業計画

科目：論理国語

履修：2年

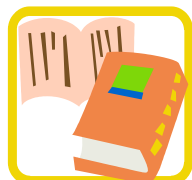
共通

2単位

様々なテーマに関する論理的な文章の読解を通して、指摘された問題点や筆者の意見を論述に即して理解するとともに、自分の考えをまとめ、文章化し発表する。

またその中で、それぞれの分野や作品に応じた解釈・鑑賞の能力を高め、自ら考え表現する力を育てる。

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
前 期	4 評論（1）	「物語るという欲望」内田 樹  文章の論理構造や筆者の主張をはっきりさせ、正確な読み取り方を学ぶ。
	5 評論（2）	一つの文学作品の批評文の読解と、その素材となる作品の読解を通して表現を学ぶとともに、その作品に関する鑑賞文を書く力を高める。
	6 評論（3）	「ファッションの現象学」河野哲也 「人新世における人間」吉川浩満 「貧困は自己責任なのか」湯浅 誠
	7 9	現代の様々な問題に関する評論文を読み、現代社会への理解を深めると同時に、話し合いや発表を通して各問題への考察を深める。
後 期	10 評論（4） 表現（2）	「現代日本の開化」夏目漱石  近代日本についての評論と、それに関連する作品を読み、当時の日本社会に関してと、現代へとつながる社会変化についての理解を深める。
	11 12	
	1 評論（5）	「貧困は自己責任なのか」湯浅 誠 「男の絆、女たちの沈黙」尹 雄太 「トリアージ社会」船木 亨
	2 3	現代の様々な問題に関する評論文を読み、現代社会への理解を深めると同時に、話し合いや発表を通して各問題への考察を深める。
講 習	生徒の状況をよく把握し、適切に対処する。	
評 価 の 方 法	年4回の定期考査のほか、小テスト・宿題・発表・授業の参加状況を評価の対象とする。 評価の観点となるのは、次のとおりである。評論を分析的に読み、提起されている問題を理解し、自分の考えをまとめられたか。	



推薦図書・参考書

- 『日本の思想』丸山眞男（岩波新書）
- 『近代性の構造』今村仁司（講談社選書メチエ）
- 『増補文学テキスト入門』前田愛（ちくま学芸文庫）
- 『増補〈私〉探しゲーム』上野千鶴子（ちくま学芸文庫）
- 『高校生のための評論文キーワード100』中山元（ちくま新書542）
- 『教養としての大学受験国語』石原千秋（ちくま新書253）
- 『大学受験のための小説講義』石原千秋（ちくま新書371）

# 古典探究

## 学習目標

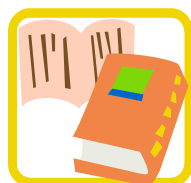


科目：古典探究  
履修：2年  
共通  
3単位

日本の古典としての「古文」と「漢文」を読み味わう能力を養い育て、身につける。  
古典の知識・知恵を学んでいくなかで、思考力・判断力・表現力を鍛える。  
古典に親しむことにより、人生を豊かにする態度を育て、日々の高校生活に反映させていく。  
先人の知恵を鏡として、現代に生きる力を蓄えていく。

### 年間授業計画

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等	
前 期	4	【古文】 ・説話 【漢文】 ・故事・寓話	【古文】 『枕草子』『方丈記』等の随筆や説話、歌物語等、様々なジャンルの有名作品を題材に、古典文法の基礎（助動詞・助詞・敬語法等）を固めながら、さらに読解を深め、古文を読み味わう力をつけることを目指す。 【漢文】 故事・史話・志怪や伝奇等、前期は取り組みやすい作品を題材に、漢文訓読の方法や重要句形の理解を確実なものにし、漢文を読み味わう力をつけることを目指す。 古文・漢文とも、予習・復習を通して確実に知識を身につけることが必要である。
	5	・歌物語 ・古代の史話	
	6	・随筆 ・文章	
	7	・物語 ・志怪・伝奇	
	9		
後 期	10	・物語 ・史記	【古文】 『源氏物語』『大鏡』『更級日記』等、本格的な古文を読解し、作品を通して当時の文化や社会を知り、先人達の心情や考えを学び取ることを目指す。 【漢文】 『史記』や思想家の名文等、文学的・思想的に高い評価を得ている作品を読解し、古代に生きる人々の言辭や行動を学び取ることを目指す。
	11		
	12		
	1	・歴史物語 ・思想	
	2	・日記	
講 習		必要に応じて、「文語文法」の夏期講習を設定し、1年次の復習とまとめを体系的に行う。 必要に応じて、学力の補充・発展に適したテーマを選んで、日常的に講習を行う。	
評 価 の 方 法		年4回の定期考査のほかに、授業中の小テストや宿題テスト、また授業への取り組みを評価の材料とする。評価対象となるのは、古典理解の手がかりとなる古典文学や思想についての、客観的な知識と理解の程度、ならびに、正確な知識と理解に基づいて解釈する力、そしてそれを他人が理解できるように説明する力である。ただし、学習成績の評価では、古典理解に関わる用語と文法事項を知識として習得したかが大きなポイントとなる。実力テストの結果なども参考として利用する。	



推薦図書・参考書

『枕草子』（角川ソフィア文庫ビギナーズ・クラシックス）  
『更級日記 上・下』関根慶子（講談社学術文庫172・173）  
『源氏物語』（角川ソフィア文庫ビギナーズ・クラシックス）  
『『源氏物語』を楽しむ』山口仲美（丸善ライブラリー237）  
『大鏡の人びと』渡辺実（中公新書830）  
『項羽と劉邦 上・中・下』司馬遼太郎（新潮文庫）  
『漢文名作選』鎌田正監修（第一集・第二集、大修館書店）

# 論理国語

# 学習目標



年間授業計画

科目：論理国語

履修：3年

共通

2単位

近代以降のさまざまな文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書し表現することによって人生を豊かにする態度を養う。

論理的な文章については、論理の展開や要旨を的確に捉える力を、文学的な文章については、人物像、情景、心情の変化などを的確に捉え、表現を味わう力を養う。

「話すこと・聞くこと」の総合的な力を養い、コミュニケーション能力を高める。

月	学習単元	学習事項等	
前期	4 評論(1) 5 評論(2) 6 評論(3)	「つながりと秩序」(北田暁大) 「自然を守るということ」(森岡正博) 「ファンタジーワールドの誕生」(今福龍太)  ・関係に注意して、評論を正確に読み取る力を養う。 ・現代文語彙を充実させる。	
	7 表現 9	・文学作品をもとに鑑賞文を書く。	
	後期	10 評論(4) 11 評論(5) 12	「貨幣共同体」(岩井克人) 「絵画の二十世紀」(前田英樹)  ・要旨を的確につかみ、表現する力を養う。 ・現代文語彙を充実させる。
		1 入試直前対策 2	・様々な入試問題を解くことで、問題に対する取り組み方を学ぶ。 ・数多くの文章に触れることで、自己の考えを深める。
講習		生徒のニーズや状況を把握し、演習形式の講習を設置するなど、適切に対処する。	
評価の方法	定期試験を基本として、小テストや授業中の課題、休業中の宿題などを勘案して、総合的に判断する。		



推薦図書・参考書

- 『小説の方法』大江健三郎(岩波書店)
- 『文学テキスト入門』前田愛(筑摩プリマーブックス)
- 『文学部唯野教授』筒井康隆(岩波現代選書)
- 『教養として大学受験国語』石原千秋(ちくま書房)
- 『大学受験のための小説講義』石原千秋(ちくま新書)
- 『秘伝 大学受験の国語力』石原千秋(新潮選書)
- 『新入試評論文読解のキーワード300』大前誠司(明治書院)
- 『MD 現代文・小論文』(朝日出版社)

# 古典講読(古文)

## 学習目標



科目：古典講読  
(古文)  
履修：3年  
文必選  
3単位

古文を読むことによって、日本の文化と伝統に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

### 年間授業計画

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
前 期	4 5 6	枕草子 頭の弁の、職に参り給ひて 殿などのおはしまさで後 宮に初めて参りたるころ 大納言参り給ひて
	7 9	大鏡 東風吹かば 宣耀殿の女御 最後の除目 肝試し 道長と詮子
	10 11 12	源氏物語 第一部 源氏物語 第二部 廃院の怪(夕顔) 車争ひ(葵) 物の怪の出現(葵) 女三の宮の降嫁(若菜上) 紫の上の死(幻)
	1 2	入試直前対策
講 習	大学入学共通テスト・二次試験を題材とした(過去問・予想問題)演習を行う。	
評 価 の 方 法	年3回、前期中間・前期期末・後期中間の各考査の成績と、日常の授業に対する姿勢、提出物、小テスト等を総合して評価する。	

『新編日本古典文学全集 源氏物語①～⑥』

阿部秋生 秋山虔 今井源衛 鈴木日出男 校注・訳 (小学館)

『新日本古典文学大系 源氏物語一～五』

柳井滋 室伏信助 大朝雄二 鈴木日出男 藤井貞和 今西祐一郎 校注 (岩波書店)

『新潮日本古典集成 源氏物語一～八』石田穰二 清水好子校注(新潮社)

『源氏物語図典』秋山虔 小町屋照彦編(小学館)



推薦図書・参考書



# 古典講読（漢文）

## 学習目標

科目：古典講読  
（漢文）  
履修：3年  
文必選  
2単位

古典としての漢文を読むことによって、中国と我が国の文化の伝統に対する関心を深め古典に親しむ態度を育てる。  
大学入試に対応できる学力を養う。

大目録 漢文 1.1.1

月		学習単元	学習事項等
前期	4	◆逸話を読む	春秋・戦国時代を背景とする逸話を読むことで、漢文基礎力の確認を行うとともに、時代背景についての知識を得る。  史話を読むことを通して漢文に親しみをもち、同時に、古代中国の歴史の流れを知り、漢文を読む際の基礎知識とする。句法知識を基礎とした、文脈に沿った訳ができる応用力を身につける。
	5		
	6	◆史話を読む	
	7 9		
後期	10	◆道家・法家の思想	道家の老子・荘子、法家の韓非子の文章を読み、多様な思想の内容に触れ、中国古代思想史の概要を理解する。  代表的な名文を読み、その文体に慣れるとともに、漢文世界についての理解を深める。  入試直前対策 大学入学共通テスト、センター試験、国私立二次試験の過去問演習を行う。
	11		
	12	◆文章を読む	
		◆漢文演習	
	1		
	2		
講習	基本的な句法・語意・時代背景等の説明から入試対策まで、漢文学習における学習補強の手助けとなるよう努める。		
評価の方法	定期考査をはじめとして、普段の授業への取り組みや課題等を総合的に判断して評価の材料とする。評価対象となるのは、正確な漢文訓読・句法理解・漢文の内容理解・中国の古典文化の理解。中国の歴史的背景の理解等、古典に親しみ進んで読む力を身につけているかである。		

### 推薦図書・参考書



『漢文法基礎』二畳庵主人・加地伸行（講談社学術文庫）  
『黄河の水—中国小史』鳥山喜一（角川文庫）  
『科举』宮崎市定（中公文庫）  
『中国皇帝列伝—歴史を創った名君・暴君たち』守屋洋（PHP文庫）  
『中国的思考—儒教・仏教・老荘の世界』蜂谷邦夫（講談社学術文庫）